



最優秀賞に輝いた鈴木さん
(山形市で)

営農指導員実践 山形県大会 鈴木さん(JA山形市)最優秀

【山形】JA山形中央
会と県農協農政対策本
部、県JA営農指導員協
議会は1月31日、山形市
のJA研修所で2019
年度JA営農指導員実践
・山形県大会を開いた。
3人が営農指導の取り組

みや成果を発表し、審査
の結果、JA山形市農業
振興課の鈴木公俊さん
(42)が最優秀賞に輝い
た。鈴木さんは、11月ご
ろに秋田県で開かれる北
海道・東北ブロック大会
に県代表として出場す
る。

鈴木さんは「山形セル
リーの生産振興とブラン
ド確立の取り組み」若
者、ばか者、よそ者の挑
戦」と題して発表した。
鈴木さんは、高齢化や
生産者・出荷額減少の課
題克服に向けたプロジェ

クトで、団地化や研修生
の受け入れ、日本版農業
生産工程管理(JGAP)
P)団体認証取得の他、
情報通信技術(ICT)
の導入や農水省の地理的
表示(GI)保護制度登
録などが、東北随一のセ
ルリー産地再興とブラン
ド確立・維持の力になっ
たと強調した。

生産者とJA、行政、
地域が一体となった取り
組みの結果、農家以外の
出身者を含む若い生産者
が育ち、出荷量が増え、
単価もアップしたと述べ

た。
鈴木さんは「若者、ば
か者、よそ者の情熱を大
切にしたい。産地の維持
・発展のために営農指導

に終わりはない。これか
らも生産者と共に常に前
を向いて活動を続ける」
と結んだ。